

「真のグローバルプレイヤー」 を目指して

当社グループは、中期計画「VISION 2020」において、新たな挑戦を果たすことで「真のグローバルプレイヤー」としての存在価値を高めています。

これからの成長を支える三つの強み

1. 開発力が支えるシェアNo.1ブランド

Innovation

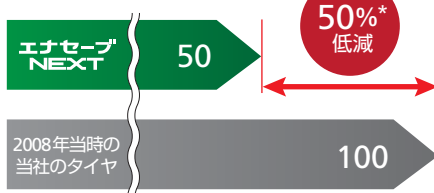


ラベリング制度
最高グレード
「AAA-a」達成

**エナセーブ
NEXT**

エナセーブ史上No. 1の低燃費性能と
ウエット性能を実現

転がり抵抗



ウエットブレーキ性能



* 2008年当時におけるダンロップの市販用夏用タイヤ売上上位4商品を自社基準で算定し、その平均値をタイヤの表示に関する公正競争規約に定められた試験方法に換算した結果、50%低減。
(「エナセーブ PREMIUM」と比べ10%低減)

** 詳細なデータについては、タイヤ公正取引協議会に届出てあります。

タイヤの進化を牽引する技術開発力

当社では、「エナセーブ」シリーズ等「低燃費タイヤ」の開発に注力しており、2014年9月に「エナセーブ NEXT」を発売しました。転がり抵抗を大幅に低減するために、当社独自の新材料開発技術「4D NANO DESIGN (フォーディーナノデザイン)」により開発した高純度天然ゴム「UPNR*」「新シリカ用変性ポリマー」をはじめとする先進技術を採用しました。さらに、ウエット性能を向上させる新開発の「ウエットグリップパウダー」により、エナセーブ史上No.1の低燃費性能とウエット性能を実現し、「転がり抵抗性能」「ウエットグリップ性能」とともにラベリング制度における最高グレードの「AAA-a」を達成しています。

* Ultra Pure Natural Rubber

新材料開発技術「4D NANO DESIGN」

タイヤ性能を向上させる新材料を効率的に開発するために(1)「調べる」、(2)「予測する」、(3)「作る」、(4)「引き出す」という四つの技術を融合させ、ナノレベルで分子の挙動を表現しながら、材料シミュレーションと解析を行うことで科学的・合理的に材料開発を行い、素材を自在にコントロールすることを可能にした新技術。





プレミアム
ランフラットタイヤ

**SP SPORT
MAXX 050 NEO**



プレミアム
ランフラットタイヤ

**AZENIS
FK453 RUNFLAT**

ランフラットタイヤの進化を牽引

当社では、安全性向上と、スペアタイヤ不要化による省資源・軽量化を実現するランフラットタイヤの開発を積極的に推進し、2014年7月に欧州でプレミアムランフラットタイヤ、FALKEN「AZENIS FK453 RUNFLAT」、11月にDUNLOP「SP SPORT MAXX 050 NEO」を発売しました。当社独自の次世代新工法「NEO-T01」と新材料開発技術「4D NANO DESIGN」により、振動や路面からの衝撃を低減した高い快適性能と、材料使用量の削減による環境性能の向上*、ワンランク上の操縦安定性能による安全性を実現しています。「NEO-T01」から生み出されたタイヤは、通常工法比較で「高速ユニフォーム低減」「軽量化」「高速走行時の形状変化抑制」を実現しています。

*タイヤ重量の軽量化を指します。

次世代新工法「NEO-T01」

タイヤの形状を限りなく真円に近づけ、快適性能と環境性能、安全性を高次元でバランスさせた先進的なタイヤ製造工法。



NEO-T01

世界で最も革新的な100の企業や機関を 発表するトムソン・ロイター「Top100 グローバル・イノベーター 2014」に選出

世界的な情報サービス企業トムソン・ロイターが、特許数、知的財産活動の成功率、グローバル性、影響力等で評価する「Top 100 グローバル・イノベーター 2014」に、当社が選出されました。当社はこれで2度目の選出となります。

今回の選出は、世界初*の100%石油外天然資源タイヤ「エナセーブ 100」や、タイヤラベリング制度における低燃費性能とウエットグリップ性能で最高グレードの「AAA-a」を獲得した「エナセーブ NEXT」をはじめ、地球環境への配慮と安全・安心を両立する独自の技術開発を進めており、その様な先進的な取り組みが高く評価されたものと考えております。

*合成ゴムが主流になって以降(当社調べ)

2014 THOMSON REUTERS
TOP 100
GLOBAL INNOVATORS

快適性能、環境性能、安全性能を実現した ランフラットタイヤ

ダンロップが1970年に世界で初めて実用化したランフラットタイヤは、サイド部分に特殊な補強層を設けるなどにより、走行中に空気圧がゼロのパンク状態になっても所定のスピードで一定距離の走行が可能で、走行時の安全性向上に加え、スペアタイヤが不要となるため、省資源・省エネルギーにも貢献します。

サイド補強層



ランフラットタイヤの構造図

これからの成長を支える三つの強み

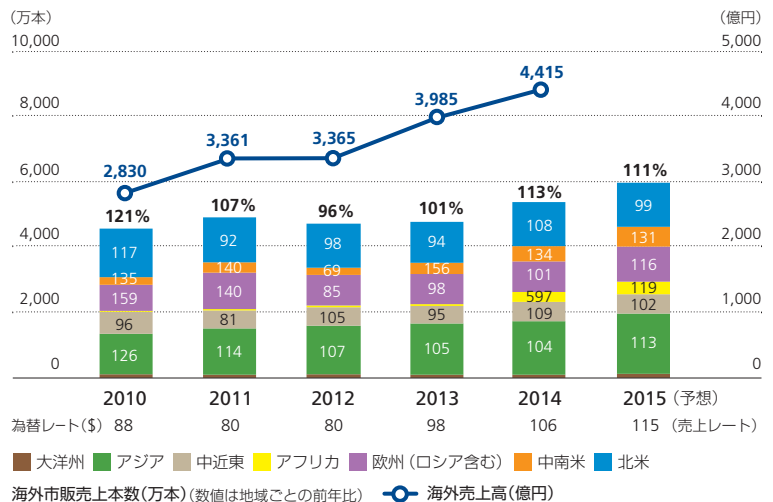
2. 世界的な生産・販売拠点の拡大

Globalization

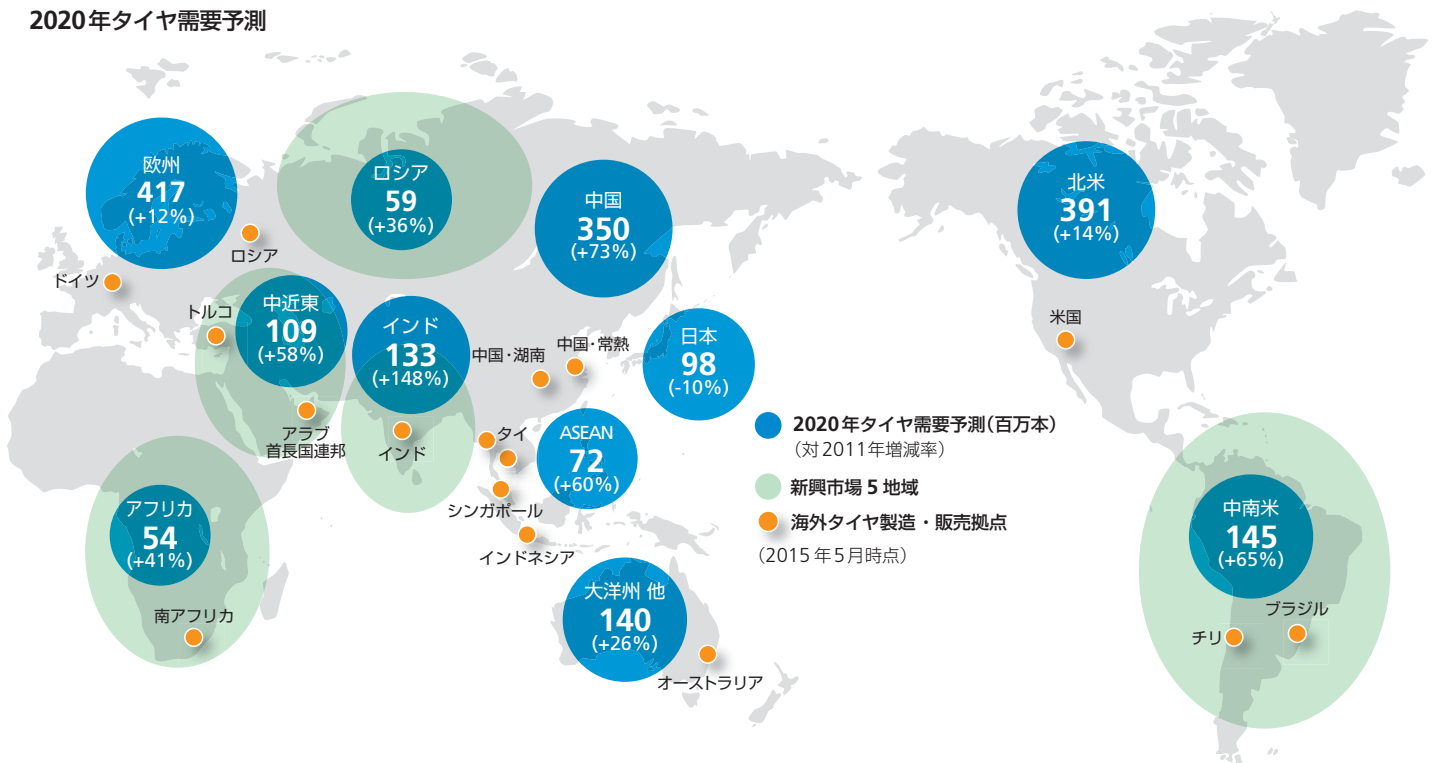
新興国のタイヤ需要拡大と、グローバル生産販売体制の確立

「VISION 2020」の成長への重要な戦略の一つとして、新興市場への進出があります。2020年の世界のタイヤ需要は約20億本と予想され、特に中国を含む新興国がその半数を超える市場となる見通しです。タイヤ事業ではこうした需要をとらえ、新興市場での製造・販売拠点の積極展開を推進しています。2013年に稼働開始したブラジル、アフリカで生産能力の増強を図るとともに、現在は、中東・北アフリカ・ロシア、欧州等の市場の要衝であるトルコ工場の建設を進め、本年7月からの生産開始を目指しています。また、2014年にはオーストラリアでも販売会社を立ち上げました。

海外市販売上本数前年対比と海外売上高



2020年タイヤ需要予測



新興国最大市場である中南米市場の中核としてのブラジル

中南米における当社グループ初のタイヤ工場となるブラジルのSumitomo Rubber do Brasil Ltda.が、2013年10月より稼働しています。ブラジルを中心とした中南米地域では、モータリゼーションの急速な拡大に伴い、自動車タイヤの需要も

増加しており、2020年時点での需要予測が1億4,500万本と新興国での最大市場になると予想されます。こうした市場環境から、中南米での生産・販売体制の強化は、当社のグローバル成長戦略へ大きく寄与すると考えられます。

2020年、ブラジルでシェア10%を獲得するために

需要に合わせて生産を拡大

ブラジル工場では生産工程の全自動化等を実現した新工法「太陽」を導入しています。2013年に日産2,000本で開始した生産能力を、2015年には日産15,000本まで拡大し、今後は需要動向を判断しながら順次増産の予定です。

ブランド認知向上と拡販を目指して

乗用車用タイヤ看板店を120店、トラックセンターを20店設置することなどにより、ブラジル市場での販売を強化します。





南アフリカ工場、生産・拡販へ向け前進

当社は、アフリカ地域における生産、販売体制の強化を目的に2013年12月にアポロタイヤ南アフリカ社の買収を完了し、Sumitomo Rubber South Africa (Pty) Limitedとして事業を開始しました。

2013年当初に日産9,600本だった生産能力を、2017年には50%向上させ日産14,500本とするなど、生産能力の強化を早急に進めています。

また、この買収により、当社がアフリカ全土でのダンロップブランドの販売権・製造権を確保したこととなります。

積極的な市場開拓を行い、大きな成長が見込まれるアフリカ市場におけるタイヤ事業をさらに拡大し、当社グループのグローバル展開を加速させていきます。



農業機械用タイヤのアジア展開を推進

当社グループは、「VISION 2020」の戦略の一つとして、「農業機械用タイヤのアジア展開」を掲げています。2014年4月に、当社グループ初となる海外での農業機械用タイヤ工場の稼働が開始しました。タイは世界有数のコメ輸出国であり、タイを中心としたアセアン地域では、日系農機メーカーの現地生産が拡大するなど、現地での農業機械用タイヤの需要が急速に高まっています。日系農機メーカーを中心に新車装着を進めるとともに、市販用タイヤの販売も本格化させ、タイおよびタイ周辺国への拡販を加速していきます。

これからの成長を支える三つの強み

3. グローバルな人材の育成と裾野の拡大

Human Resources

持続的成長の基盤、優れた人材の確保と育成に注力

事業のグローバル化の進展を踏まえ、世界で活躍できる人材の育成、マネジメントを担う幹部の育成に加え、グローバルでの人事管理体制の整備に向け、取り組んでいます。そのため、スタッフやリー

ダー向けの研修、海外赴任者研修とともに、国内外の製造拠点管理、ものづくり教育を推進する訓練を行っています。

幅広い視野をもったグローバルな人材を育成

階層別の課題に沿った研修体制

当社グループでは、階層別の研修による人材育成を進めています。管理職候補者対象には、ビジネスの意思決定や職場運営・部下育成に関する基礎知識研修を実施し、若手社員対象には、問題解決能力の向上や経営シミュレーションゲーム、OJTリーダー

研修を行っています。さらに、各階層に見合った、指導力・育成力や人間関係の構築などコミュニケーション能力の強化も図っています。

海外現地法人においては、現地スタッフ法人幹部の育成を柱とした、管理職層の業務遂行能力とマネジメント力向上のための研修を行っています。

社員の技能・意欲の向上を目指し、技能オリンピックや研修を開催

当社グループでは、若手社員への技能伝承と意欲向上を目的に年に2回、「技能オリンピック」を開催しています。製造工程を八つに分けて、1大会につき一つの工程を対象として、国内外の各工場から選抜された若手社員1名がその技能を競い合います。研修宿泊施設を持つ製造研修センターでは、技能オリンピックの開催や、研修内容・施設の充実などを通じて、業務知識・技能に直結する施策を展開し、従業員の動きがいの向上につなげています。

